

横安江町・乗善寺上地町とある。本町の中に記されて居るから、横安江町の末、後俗に目細小路というた所であらう。三箇屋版六用集には『東本願寺道場乗善寺、鍛冶町』とあるのは、横安江町の末からそれへ移つたのである。

シヨウソウジ 成宗寺 鹿島郡上(郡落名)に在つて、眞宗東派に屬する。

シヨウソウジ 淨尊寺 鹿島郡目に在つて、眞宗東派に屬する。諸家分派系圖には、越前照護寺玄永の子堯助をその開祖とする。

シヨウタイジ 照臺寺 石川郡野々市に在つて、眞宗東派に屬する。

シヨウダイチノシヨウ 庄田市丞 前田綱紀に仕へて三百石を領し、貞享二年歿。子孫相繼いで藩に仕へる。

シヨウダセイコウ 庄田晴江 金澤の俳人。通稱次郎米・武右衛門。堤町に住し、茶及び賣薬を業とし、六安洞・早苗庵と號し、後又花之本を稱した。晴江傍ら能樂を能くしたが、晩年家道衰へ、明治十四年十二月三十一日歿した。

シヨウダタカナリ 庄田孝濟 道釋權之助。五左衛門・兵庫。貞享二年父市丞の遺知三百石を襲ぎ、表御納戸奉行・前田吉徳御抱守を經、寶永五年同御附御先簡頭として百石を加へ、漸く昇進して定番頭に至り、享保九年七百石、十二年五百石を加へて人持組に進み、十五年五月二日六十九歳を以て歿した。

シヨウダマサモリ 庄田正守 初の名は孝叙、鼓缶子と號し、奥村榮政の老臣であつた。故あつて仕を絶たれたが、承應三年前罪を赦されて榮政の子榮清に仕へ、遂に前田綱紀に

臣事し、老後は夕齋と號した。正守文藻あり、和歌を能くし、且つ鈴箱を有澤永貞に學んだが、永貞は文辭に拙なるを以て、正守をして代筆せしめたことが多い。その作るところ甲州武田家四將圖傳・奥村榮尙所藏戎器來歴の如き、榮然見るべきものである。貞享二年歿、年七十二。

シヨウダユキカタ 庄田行方 御成敗式目抄に、『一、懸所從答於主人否事。加賀國坂保地頭庄田四郎次郎行方與岩本太郎家清一相論論人新五郎男事。仁治三年三月廿五日評定云、懸所從之盜犯於主人之條背物議一歟、非沙汰限。奉行對馬左衛門尉。』とある。

庄田行方は石川郡後の久保村の人であり、岩本家清は能美郡岩本村の住であらう。盗人新五郎が家清の家從であつたことは、東鑑にも明白である。

シヨウウジ 小路 珠洲郡正院郷に屬する部落。正院と相接續する。能登名跡志に、『小路村つゞき也。羽黒の宮とて、羽州羽黒山を移したる也。』とある。

シヨウチン 正智院 加賀藩主第五代前田綱紀の子、大聖寺藩主第四代前田利章の法號。詳しくは正智院廓巖巖然大居士。

シヨウチン 淨智院 大聖寺藩主第五代前田利道の女で、喜連川左兵衛督惠氏夫人となつた崎嶇の法號。詳しくは淨智院眞諦觀光大禪尼。

シヨウチボウ 定地坊 能美郡能美に定地坊の遺跡がある。本願寺派諸寺系圖に、鶴川常徳寺の開山慶惠の弟超勝寺巧達は、蓮如の吉崎に居た時、命によつて加州能美に退隱し、定地坊と號したとある。

シヨウチウサダメガキ 城中定書 一冊。金澤城の諸門通用に關する諸法令を集めたもので、寛文三年二月附外數種が載せられてゐる。承應の頃から河北・石川兩門内の通行が禁ぜられ、その後大に嚴重になつたことが見える。

シヨウチヨウ 昌澄 白山宮の長吏。大貳律師と號する。白山宮莊嚴講中記録に、昌澄が正和五年正月廿四日逝去したと見える。

シヨウチン 祥椿 ↓ダイネンシヨウチン 大年祥椿。

シヨウチン 常椿寺 鳳至郡宇出津に在つて、曹洞宗に屬する。山號は大樹山。天文十四年天香城主三宅小三郎宗隆の父大樹常椿菩提の爲に、徳岩春幡和尚の創建に係るといふ。

シヨウツ 生水 江沼郡奥山方に屬する部落。

シヨウツウジ 常通寺 鹿島郡小島に在つて、淨土宗に屬する。文明二年及譽の創立といふ。

シヨウツガミツ 生水ヶ溝 江沼郡瀧原のせめの谷である。江沼志稿に、この村の奥生水ヶ溝に梅撥草を生ずるが、岸高くして至り難い所であると記する。

シヨウツメ 定詰 ↓ツメニン 詰人。

シヨウテイジ 淨眞寺 河北郡福久に在つて、眞宗東派に屬する。もと道場であつたが、明治十二年七月寺號の公稱を許された。

シヨウテキヒツキ 正徳筆記 一冊。盲人板津正徳著。前田利常・光高に關する談話を片假名交りに記したもので、書尾に『右一十葉在五七問答之書尾。己丑之冬表章之爲』

士林談叢之一云。仲既冬望養民堂主人書。』とあり、養民堂主人は前田綱紀である。

シヨウテンジ 承天寺 珠巖道珍の草創した曹洞宗の寺院。徹山旨廓の傳に押野の承天に塔したとあるから、石川郡押野に在つたのである。

シヨウテンジ 正傳寺 石川郡相川新に在つて、眞宗東派に屬する。もと金澤材木町に居たが、明治十一年今の地に移つた。

シヨウトウイン 松濤院 七日市藩主第十一代前田利裕の法號。詳しくは松濤院睡巖覺翁大居士。

シヨウトク 常徳 河北郡五ヶ庄に屬する部落。

シヨウトクイン 正徳院 大聖寺藩主第十四代前田利智の夫人富山前田氏の法號。詳しくは正徳院眞操妙壽日潤大姊。

シヨウトクジ 聖徳寺 能美郡日末に在つて、眞宗東派に屬する。山號は上宮山。

シヨウトクジ 聖徳寺 鹿島郡大野木に在つて、眞宗東派に屬する。

シヨウトクジ 聖徳寺 鳳至郡岩車に在つて、眞宗東派に屬する。もと河内國石川郡山田村に在つたが、明治二十九年九月今の地に移つた。

シヨウトクジ 常徳寺 金澤蛤坂町に在つて、眞宗東派に屬し、世に鶴川常徳寺と稱する。初め本願寺結如の子頓圓覺淨徳寺を能美郡山上郷西山に建て、二代珍祐慶惠(頓圓の子如達玄慶の子)を経て、三代頓祐の時同郡鶴川に轉じ、八代頓惠の時小松に移り、九代敬頼の時金澤河原町に出で、萬治元年今の地に徙つた。淨徳寺が常徳寺に改めたのは、